

STORY01：信頼できる先生と大切な友達と



広大附属・ND 清心・女学院・安田中学校 合格

(附属小学校 女子)

私は、4年生の時に入塾しました。信頼できる先生と大切な友達に出会い、たくさんの時間を大木スクールで勉強し、多くの経験をしました。

国語では、中学入試判定テストでなかなか良い点が取れませんでした。一番ショックだったのは第3回の中学入試判定テストで私の苦手な国語の点数が半分もとれなかったことです。また、そのテスト形式は私の第一志望校である「広大附属」だったことです。先生と話をし「落ち着いて問題を解け」、「国語の予習シリーズを提出するように」とアドバイスをしてもらいました。それから国語の予習シリーズを解いて先生に提出し、また授業で解いた問題を見直すことによって、国語の成績が少しずつ安定していきました。その時のテストでは悪い結果だったけれど、入試までにそのような体験をして勉強できたことは結果的によかったのだと思いました。

算数では、広大附属の過去問を解き始めたころは取れるところで点数を取れていたけれど、次第にうっかりミスが出てくるようになり、なかなか良い点数が取れなくなりました。しかし、授業後の広大附属の対策補習では良い点数を取ることができるのに、なぜ過去問では合格ラインより高い点がなかなか取れないのか疑問に思い、先生に聞いてみたところ「時間配分がうまくいっていないのではないか」とアドバイスをしてもらいました。確かに私は最近見直しをしないまま最終問題に移っていたのだということを反省して、最終問題に移る前に見直しをするように心がけると、合格ラインを超える点数が取れるようになりました。私は先生に聞いて、的確なアドバイスしてもらえてよかったと思いました。

理科では、HOP はすべて合格させ、STEP も3つ残して冬休みに入りました。冬休みまでにあまり暗記テストを残していなかったのでスムーズに暗記テストを受けることができ、理科の総復習のプリントを得ることができました。入試前にプリントを見直し、確認することができ良かったと思います。

社会では1月に入って7つほど暗記テストが残っており、さすがにヤバイと思い、暗記テストを残り3つに減らしました。記述のテストが1つ、もう2つのテストは年代暗記でした。附属の過去問には、後半の年代に関連する問題が出題されていたので、後半を中心に年代暗記を覚えました。結局、暗記テストは最後まで合格できなかったけれど、入試に役立ったのであの時努力して覚えてよかったと思いました。

入試当日は緊張しましたが、塾の先生の顔を見ると緊張が和らぎ、今まで通り集中して問題に取り組むことができました。合格発表の日、すごくドキドキして自分の番号があることを願いながら合格者一覧を見ました。自分の番号があったとき、すごくうれしく、これまで

一生懸命勉強をしてきてよかったと思いました。

3年間たくさんのお話を教えていただき、ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

約3年間、大変お世話になりました。娘が第一志望校を合格できたのも先生方の熱心なご指導のおかげだと、とても感謝しております。

6年生になり、塾で過ごす時間も増え、ストレスがたまらないか、このまま最後まで乗り切れるか、不安に思うこともありました。しかし、娘は一度も「塾をやめたい」と言ったことはなく、信頼できる先生と友人のいる恵まれた環境でいつも前向きに勉強に取り組むことができました。

冬になり、受験日が迫り、テストを何度も受けるなかで国語の成績が伸びず帰って泣く娘の姿に、どのように立ち直っていくのか不安が強くなりましたが先生は娘の気持ちを聞いて前向きに頑張っていけるようなアドバイスをしてくださいました。そのアドバイスの内容を娘より聞き、多くの生徒がいる中でもそれぞれの生徒の精神面や学習面での課題をとて理解して下さっていることを感じ、とても安心することができました。生徒が先生方を信頼できる環境にあるからこそ頑張っていけるのだと実感でき、大木スクールに通わせて本当に良かったと思いました。大木スクールでの学びや努力はこれからの娘の財産になると思います。本当にありがとうございました。

STORYO2：基礎固めとリラックス



県立広島・ND清心・女学院・安田中学校 合格

(比治山小学校 女子)

私は特に受験直前は、社会の暗記と算数の基礎固め、そしてリラックスすることに力を入れました。私は理科や算数の理系があまり得意ではなかったので、算数の計算のテキストや教科書の問題をしっかりと式をかいてまとめられるようになるまで何度もやり直しました。何度やり直してもわからなかった問題は算数の先生に聞いたりして解けない問題をできる限り少なくしていきました。

社会は歴史の年代がごっちゃ混ぜになることが多かったので最後まで家で覚えたりお母さんや友達に問題を出してもらったりして年代の問題をクリアできるようにしました。

さらに私はとても緊張しがちなタイプだったので本番に緊張して実力が出せないのを防ぐために自分に自信を持つことを心掛けました。

そしてお母さんが私を試験の直前まで励ましてくれたり、やることのプランを作ってく

れたり美味しいごはんを届けてくれたりなどのサポートをしてくれたおかげで受験を乗り越えることができました。

中学受験は大変なことがいっぱいありますが、合格した時の達成感や嬉しさは唯一無二です。皆さんも自分に自信を持ってぜひ頑張ってください。

STORY03：パズル道場から県外受験へ



渋谷教育学園渋谷・早稲田・西大和・広大附属・学院・修道中学校 合格
(附属小学校 男子)

僕は3年生のころに大木スクールに入り、パズル道場で空間認識能力や論理的思考力を高めることができました。その後、六年生になり、僕は難関校対策メンバーに選ばれました。先生方は、僕の「早くねないと体調をくずしてしまう」という体質のことを理解してくれ、帰る時間をなるべく早くするなどの配慮をしてくれました。そのおかげで、毎年冬に体調をくずしてしまうことが多かった僕が、六年生の冬だけは体調をくずすことなく受験本番に臨むことができました。

受験本番の日、僕はとても緊張していました。でも、大木スクールの先生方と会い、激励のことばをもらって、それまでの緊張がほどよくゆるみ、試験を集中して受けることができました。

これまで応援してくださった大木スクールの先生方、4年間本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

大木スクールにはテキスト生として入塾し、テスト生、パズル道場、灘・開成への算数と大変お世話になりました。

その中でもパズル道場は「絶対にやった方が良いよ！」と弟にも勧めるほど印象に残っているようで、この講座で培った思考力や粘り強く試行錯誤する力は図形問題を解く時はもちろん、受験勉強における全ての場面で役立つものであったと感じております。

我が家は本人の性格上、子ども自身に意欲がない時期には通塾することも一筋縄にはいかず、その都度先生に相談し的確な助言をいただきました。その際、先生が本人のやり方を否定せず、無理強いすることなく見守って下さったおかげで挫折せず最後までやり抜くことができました。

そんな息子も6年生の夏には受験に対する意識も変わり、目標に向けて主体的に取り組むようになりました。秋には灘・開成への算数の授業にも復帰し、先生方のサポートは言う

までもなく、志の高い仲間達と切磋琢磨できる環境に身を置いたことが良い結果に繋がったのだと思います。

関東受験では、貴重な経験やチャレンジする機会など、こちらが求めている以上のことをしていただきました。息子は思うような結果が得られず悔しい思いもしましたが、自分には何が足りなかったのかを振り返り、自分自身と向き合いながら今後について考える姿に成長を感じました。

そのような機会をくださった事に心より感謝いたします。そして、本人の意思を尊重しながら第一志望校の合格に導いていただき、本当にありがとうございました。

STORY04：コツコツ続ける努力



広大附属・広島学院・修道中学校 合格

(宇品東小学校 男子)

塾の授業後の時間を使ったり、自習室に早く行ったりして、理科と社会の暗記テストは、できるだけ終わらせるよう頑張りました。合格したテストはすべて保管して見直せるようにしていました。忘れたときに何かと便利でした。ただ年代暗記はもっと早くやっておいたほうがよかったです。

算数はまちがえた問題が理解できるまで考えました。

国語はとても苦手でした。そのため、よく他の教科の足を引っ張っていました。附属の入試ではそうならないように1月は塾生専用ページにアップされている漢字テストを1日10問ずつやっていました。

入試ではとにかく力を出し切りました。また、テストの直前まで見直していました。諦めないで最後までやり切ることが大事だと思います。

【ご家族のコメント】

中学受験を見据えて小学4年生から始めた通塾ですが、やり甲斐と目標を高く持ち楽しくもモチベーション高く3年間通わせていただきました。

一般的な通塾開始パターンということでOクラスからのスタート、GSへの昇格に手応えを感じたと思ったらまたまたOクラスへ。この3年間、成績は乱高下を繰り返しサポート側の私達もジェットコースターに乗っているかの如く成績に一喜一憂していました。

再度Oクラスになった事で、何故再度Oクラスになったのか、また本人がどうしたいのか、今後どうなりたいのかを本人と話し合いました。その結果、GSクラス、Zクラスを目

指したいという事だったのでそれに向けて頑張る事にしました。

具体的には、週テストを始めることで1週間単位での理解度を確認、同時にテスト慣れも期待しました。また大の苦手教科、国語の成績を上げるために5年6年次に本人が行った週テストの文章問題を毎日1題ずつ解いたり、塾生専用ページにある漢字プリントを印刷し毎日10問ずつ解いたりしました。得意な理科は私達が何も言わなくても取り組む事が出来ましたが、さらなる高みを目指せるように褒めて褒めて褒めちぎりました。社会は配布された問題をコピーし繰り返し自分が納得するまで解いていました。歴史の年表暗記では親子で一緒に単語帳を作り、手が痛くなった事を憶えています。

塾から出される宿題は、大好きなゲームやインターネット、漫画を読んだりする事はすべてやるべき事が終わってからやれるようにルール決めを予めしたので自らやり切っていました。

6年生になり、さらに9月以降になるとさらに塾に行くようになりました。本人は暑い日、寒い日、風が強い日、なんとなく行きたくない日、たくさんありましたが可能な限り塾での対面授業を受けるようにしました。集中度が違うからです。嫌がりながら行った日も帰ってきたら成果を楽しそうに話してくれる毎日でした。この頃になると宿題や暗記すべきものなどが増え、やるべき事をやり切る事が出来なくなってゲームが出来なくなりました。が周りでやっている子も少なかった為か自然とゲーム熱は萎んでいたように思います。

そして頑張った結果、無事志望校に合格でき、本人も合格発表の際には涙を流して喜んでいたのが印象的です。それだけ本人なりに一生懸命頑張ってきたのだと親としても実感しました。また合格出来たのはこれまで本人が積み重ねてきた努力の証だと思います。正直我が子は出来る方ではありません。しかしコツコツと続ける事の出来る天才だと私は思っています。ありがたい事に志望校の合格をいただいた事も含め、このコツコツ努力が報われた事はこれからの将来、本人の力になるでしょう。

最後に、3年間きめ細やかなご指導ご鞭撻して下さいました先生方、受験まで切磋琢磨し合ってくれたクラスメイトの皆さんに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

STORY05：楽しい学びの場



修道・城北中学校 合格

(宇品東小学校 男子)

僕は大木スクールで一番下のクラスから始まりました。最初は正直、「本当に修道中学校に受かるのかな……」と不安でいっぱいでした。しかし、先生方のおかげでそのクラスの中で成績が伸びていき、最後まで頑張ることができました。

社会は暗記テストに取り組むと先生が楽しいイラストで採点してくださったり、週テストの頑張りをいつも気にかけてくれたりして、励ましてもらいました。理科は苦手な分野がありましたが、基礎から見直しました。社会も理科も4・5年生の時に少しでも取り組んでいてよかったと思います。国語は最後まで本当に苦手でしたが、国語グループに参加し、点数が取れる時が増えて楽しくなってきました。算数は先生がまとめて下さった問題集を3年間分保存し、苦手分野を振り返りました。夏休み明けから社会理科の暗記を頑張って、12月からは過去問を解く数を増やしました。先生が出される課題を地道に行った結果、修道中学校の合格を勝ちとることができ、悔いが残らない受験を終えることができました。好きな釣りを我慢した甲斐がありました。3年間お世話になりました。

【ご家族のコメント】

私自身、中学受験の経験がなく、どのようなスタンスで臨むべきか悩みましたが、勉強ばかりではなく程よく遊ぶ時間も与え、バランスを重視して取り組んできた3年間でした。親としては、過度なプレッシャーが息子のストレスにならないよう、極力、平静を振る舞ってきたつもりです。定期的に行われた模試が振るわなかったときなど、本人も相当に落ち込んだことと思いますが、そこで諦めずに頑張ったことは、この受験を通じて学んだ一番の成果だと思っています。過去問を20年分くらい取り組み自信をつけたと考えています。息子は塾に行きたくないと思ったことは一度もないようで、勉強は大変だけど塾は息子にとっては楽しい学びの場でした。ともに励まし合う友だちにも出会えました。そして何よりも、先生方には最後の最後まで私たち家族を支えていただきました。本当に感謝しております。ありがとうございました。

STORY06：次の目標へ



広島学院・修道・城北中学校 合格

(翠町小学校 男子)

僕は3年生の夏前に大木スクールに転塾し、お世話になってきました。小4の頃は成績が安定していました。しかし、小5の秋に成績が下がってしまい、GSクラスに落ちてしまいました。その後一生懸命頑張りZクラスに戻ったのですが、先生にGSクラスの方が向いているのではと言われました。そして、次のテストで偏差値が60を超えていなければGSクラスにいくと約束をし、テストに向けて頑張りました。しかし、テストの前日にコロナにかかってしまい、テストを別室で受けさせてもらいました。しかし、全力を出すことが出来なかったため約束の結果ができませんでした。でも約束をしていたので、自分からGSクラスにいく事を決めました。この時、体調管理が一番大切だということがしみじみ伝わりました。その後も成績は上がったたり下がったりしました。そして秋ぐらいに第一志望に手が届くところまで戻すことができました。最終的には第一志望は手が届かなかったのですが悔いはありません。

学校が終わってから授業を受けて大変だった日もあったけれど先生方や友達が全力で支えてくださり最後まであきらめずに努力することを身につけました。僕には次の目標があり、行きたい大学があります。大木スクールで身につけた努力することを忘れず、これからも引き続き頑張っていきたいと思います。大木スクールの先生方、本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

最初大木スクールにはレプトンでお世話になっていました。塾の掲示を見て「実力テストを受けたい」と言い、テスト後に「大木スクールで志望校を目指して頑張りたいから転塾したい」と息子が言ったのがきっかけでした。

転塾後は算数で難しい問題が解けた喜びからどんどん算数にはまっていきました。しかし、社会・理科が始まり4科目になってからは、親が宿題管理を声かけしないと回らなくなりました。それでも息子は毎回楽しく通塾し友達も増え、競争心も徐々にでてきました。しかし、楽しくなると自習室でもおしゃべりをしていまい長期休みの度に使用禁止になることもあり悩まされました。

5年生後半から成績が下がり始めると勉強が思うように進まなくなり、なかなか挽回できませんでした。何度も受験を諦めたらどうか・・・と思ったことがありました。しかし息子は受験をやめるとは一度も言いませんでした。受験をするという意味が硬く成績が悪い時でも決して諦めていませんでした。1月に入ってからはさらに塾で勉強する日も増え、受験

日も試験終了後に次の試験に向けて塾へ行き授業を受け、緊張感のある1ヶ月でした。本当に体力勝負だと思いました。苦手な国語ではグループ個別を4年生から最後まで続け、受験当日は「国語もできた」と自信ありの表情でした。これも丁寧に指導して頂いたおかげだと思っています。結果は第一志望校にはいけませんでした。が、中学受験を通じて得た事を次の目標につなげていけるように応援していきたいと思っています。最後まで諦めずに頑張れたのは大木スクールの先生方のおかげです。先生方、事務の方、息子を支えて頂きありがとうございました。

STORYO 7：大木スクールの勉強環境



ND 清心・女学院・市立広島中学校 合格

(宇品小学校 女子)

私は、ノートルダム清心中学に合格しました。

最初は受かるか不安で、受験する前は緊張していたけど、受験当日、今まで頑張ってきたことを自信に変えてテストを受けました。

ノートルダム清心に合格したと分かった今では、勉強してきた自分の頑張りが無駄ではなかったと思い、大木スクールで勉強していてよかったと思います。

さて、私の通う塾が大木スクールで良かったと思う理由は、その勉強環境にあります。塾での勉強は生徒の理解能力や授業態度、テストの結果などで変わり、その生徒の能力に応じて3つのクラスに分けられます。どのクラスでも先生方はしっかり勉強を教えてくださいます。3つのクラスでは授業スピードや、授業中に説く問題の難易度が違います。テストの結果を分析し、生徒たちに合ったクラスで勉強するという仕組みがこの大木スクールにはあるのです。

ここでいう3つのクラスとは、Zクラス・GSクラス・Oクラスという名前に分かれています。Zクラスは、授業スピードが速く、説く問題も難易度が高いです。Oクラスは、授業スピードは比較的遅く、説く問題も易いですが、どの問題も丁寧に教えてくださいます。GSクラスはZクラスとOクラスの間みたいなかんじです。私はGSクラスに配属されましたが授業スピードが合わないので、Oクラスで勉強しました。わからない問題も気軽に質問でき、説明も丁寧なので順調に勉強できました。こういった生徒に対する熱意や勉強環境がこんなにも優れているのは大木スクールだけだと私は思います。

さらに大木スクールにはもうひとついいところがあります。それは一階にある本棚に並べられた本たちです。大木スクールにある本は入試問題で取り扱われた本や、都会のトム・ソーヤなどの有名な物語などがあります。ここにある本はとても面白く幅広いジャンルがそろっています。例えば、人生の中で一度は読みたい本や先生が号泣するような感動する物

語、論説文、説明文、とさまざまな種類があります。大木スクールにあるこの本はわたしが本を好きになったきっかけです。自分が体験していなくてもまるで本の世界に迷い込んだような実感がわき、不思議な気持ちになります。本を読んでいると自然と読解力が付き、文章を書くときに必要になる構成の仕方が上手くなっていきます。

私がノートルダム清心中学に合格したのはきっと大木スクールのこのような勉強環境が整っているからだと思います。大木スクールで勉強できたことをうれしく思います。

【ご家族のコメント】

長女も大木スクールにお世話になり、清心に通学しています。早いものでこの春からは高校生となります。長女は性格も成績も安定型でした。

次女は全てに関してアップダウンが激しい子で、5年のはじめには、勉強にのめり込みすぎて睡眠不足となり学校で居眠りを繰り返していたため、そんなにやらなくていいと伝えた記憶があります。そしたら今度は、やらなくなる時期に突入しました。ただ、そんな中でも塾へはきちんと行っていたので見守り続けました。6年になり、徐々に自分のペースがわかってきたのか、こうしたいと言う思いは大切にしていました。上位クラスにこだわらない姿勢は、親としてはビクビクしましたが、本人にお任せしました。小さな成功体験の積み重ねで、無事第一志望校にご縁を頂くことができました。最後まで諦めずやり切った娘を誇らしく思います。

我が家は共働きで、勉強は本人に任せの家庭です。親ができることは、おいしいごはんを作って、話を聞いて受け止めてあげることだけだと、2回の中学受験を通して学びました。娘たちには、「これで終わりではなく、これから始まるんよ。」と伝えています。

大木スクールの先生方には、ほんとうにお世話になりました。長男も2年後なのでよろしくお願いします。

STORY08：やめたい気持ち乗り越えて



広島学院・修道・城北中学校 合格

(宇品東小学校 男子)

僕は、大木スクールへの通塾を小4から始めました。その時は受験したいという気持ちはありませんでした。その前に夏期講習や冬期講習に行っていたので、とりあえず行ってみたという感じです。

最初は成績が良くなかったけれど、初めて文具券をもらった時は、すごくうれしい気持ちになり、そこから文具券がもらいたくて勉強するようになりました。大変なときもあり何度もやめたくなりましたが、友達ができたので、休まず行きました。一緒に帰ったり休み時間に話したりするのが楽しかったです。途中Oクラスになって、テストがAコースになりましたが、その時に点数が取れるようになったので、もっと点数を取りたい、B、Cコースに行きたいという気持ちが出てGSクラスに戻れました。成績上位者に初めて名前が載った時はとてもうれしかったです。国語の成績が悪かったので個別を受けました。個別は楽しくて、考え方がわかるようになってきました。理科の個別も先生の詳しいお話が聞けておもしろかったです。最初は学院に合格すると思えなかったけど、受験の日の朝に、先生方から励ましのことを聞いて、合格するかもという自信が出てきて試験を受けることができました。やめずに続けたことがよかったと思いました。ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

息子は敏感で、始歩以来一度も転んだことがないほど慎重です。小学校に入り、毎日「学校に行きたくない」とごねる息子との闘いの中、息子のお友達のお母様から、「お兄ちゃんが大木スクールに行ってよいお友達ができ、先生もよく面倒をみてくださって、すごくよかった」というお話を伺い、「進学塾」というものも知らずに、学校以外の居場所になればと思い入塾を決めました。

大木スクールでは、先生方のお話がとてもおもしろかったそうで、毎日帰宅後に様々な話を教えてくれました。学校とは大違いで授業が大好きな様子で驚きました。一時はCコースに上がり偏差値が大きく下がり、やる気をなくして成績がガタ落ちし、やめたいと言い出したこともありました。でも、そんな時も先生のご配慮でBコースで受験して自信をつけることができました。勉強が大変になりやめたいということもありましたが、結局最後までほほ休まずに行きました。その都度先生方が相談にのってくださって、息子と話をしてくださって乗り切ることができました。

親は何もできませんでした。自分ひとりで宿題をして、プリントを出し入れして、なにか軽食を作って食べて、時間になったら電車に乗って、遅刻も欠席もなく通学しました。良い

親でありたいと手を出すと、息子の機嫌を損ねてしまい、やる気スイッチを切ってしまいました。6年生になってからは家で勉強をしている姿を本当に見ていません。つい口を出してしまいましたが逆効果でした。ですので、家では機嫌よく過ごせるように、一緒にテレビを見たり、話を聞いたり、好きな工作や料理をするだけで、塾に行ったことのない私は「余計なことをしない」だけがんばりました。この状態がすでに頑張っているのだと思うように心がけました。これまではご褒美のためにがんばるより、頑張るくらいならあきらめることを選んできた息子、先に楽しいことをして、のせて、頑張れる素地を作ることしかできませんでした。家ではそんな様子でしたが、授業は真面目に受けていたそうです。もしかしたら家でのそうした態度によって、授業に集中して吸収するという余力を持たせることはできたのかもしれませんが。

もうひとつだけ心がけたのは、先生方への敬意を息子に示し続けることです。運動会の法被（はっぴ）に書く漢字一文字に、大木スクールの先生の名前から一文字とって書いたという息子は、尊敬する先生方のことばに励まされてきたようです。どれだけ親が言っても届かないのに、「先生がこの成績なら学院に受かるよって言ったから、受かると思って落ち着いたと受けられた」と合格発表の後に聞きました。

大変な3年間ではありましたが、志望校に合格したことだけでなく、良いお友達ができ、精神的に強くなり、自制心が付き、自立したという大きなおまけもついてきました。一生ものスキルを身につけさせてくださり本当にありがとうございました。

STORY09：死ぬ気についていく！



広島学院・修道・城北中学校 合格

(宇品小学校 男子)

僕は小4から入塾しました。他の塾にも見学に行きましたが、大木スクールの授業が楽しく、居心地がよく、ここで授業を受けたいと思い入塾を決めました。

5年生になり、理社が増えた時には4科目両立する事にとっても苦戦しました。クラスが維持できたのは理社の暗記テストをひたすらやる、授業のスピードに死ぬ気についていったからだと思います。

実際過去問を解いてみて、暗記テストに出てきた問題が多く出題されており、「覚えておけば、点とれたなー」と、後悔する事が何度かありました。また、授業の内容は特に国語が大事だったと思います。行動の理由、心情の理由、記述の書き方を覚えるだけで、偏差値が上がりちょっと驚きました。

受験当日は、計算を解き、社会の歴史の年表を見て、頭を起こしてリラックスするために

爆音で音楽を聴いて臨みました。

そして、志望校に合格出来た時には、くっそ叫んで泣きそうになりました。

合格できたのは、最後の最後まで熱く教えてくれた先生や、一緒に切磋琢磨できた仲間のお陰だと思っています。先生ありがとうございました。中学生になっても頑張ります。

【ご家族のコメント】

息子の強い強い意向で最初は何も分からないまま入塾しました。

そして、気付けば中学受験生の親になっていました。頼りは、保護者会での先生の熱心な説明だけでした。ただそれが、すべてだったように今は思います。感謝しかありません。親として貴重な経験をさせてくれた息子にも感謝です。

よき仲間と切磋琢磨できた3年間、苦しい事もあった3年間ですが、親子共々充実した3年間を過ごす事が出来ました。

STORY 10 : S コースをキープして



慶應義塾中等部・豊島岡女子・広尾学園・西大和・附属中学校 合格
(附属小学校 女子)

私は5年生の冬頃、急に得意だった理科が苦手になってしまいました。そこで、個別指導を入れて徹底的に理科の対策をしました。また、6年生になると、開成への理科が始まり、そこでもたくさんの対策をしました。すると、入試直前には理科が得意になっていました。

また、社会も苦手だったので、先生方が作ってくださった暗記テストをしたり、テキストの暗記をしたりして、足を引っ張る科目にならないように頑張りました。国語では記述の対策をするために個別を入れて対策しました。

過去問は6年生の夏休み明けから自習室に行き、滑り止め校の問題をたくさん解きました。本命校の対策は先生方が授業でやってくださったので、冬休み明けからやり始めました。多いもので10年分ほど解きました。

過去問で合格ラインを超えなくても挫けずに頑張れるように気をつけました。

また、わからない問題が出てきた時には先生方に積極的に質問するようにしました。そして6年生になったらずっとSコースをキープするように頑張りました。

わからないことを丁寧に教えてくださったり、記憶に残る授業をしてくださったりした先生方には感謝しています。本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

我が家は広島から関東受験を目指すことが決まっていたため、どの塾にお願いするのがいいのかとても悩み、最終的に大木スクールにお願いするのが一番よいと考え、新5年生になる頃から大木スクールに通うようになりました。

転塾当初は塾のやり方に慣れず、成績の浮き沈みに悩みましたが、6年生になると成績も安定し、Sクラスをキープすることができ、最後の週テストでは女子で1位を取ることができました。

大木スクールの良かった点は、とにかく先生方が親の話を真剣に聞いて改善点を一緒に考えてくださるところでした。初めから高い志望校を望んでいた娘でしたが、一度も志望校を下げるほうが良いなどと言われることもなく、子供の気持ちをよく汲んでくださり、常にモチベーションが上がるお声かけをして頂きました。

直前期の個別指導、関東受験の会場直前まで、このような子供達への温かいご指導がなければ、我が子の希望に叶った合格はなかったと思います。

先生方、本当にありがとうございました。

STORY 11 : だんだん本気に



広大附属・修道・城北・国際学院中学校 合格

(附属小学校 男子)

僕はOクラスで授業を受けていて、夏期講習の時はまだ受験まで時間があるので漢字テストや暗記テストの勉強をちゃんとしていなかったけれど、受験が近づいて入試の過去問を授業でやるようになってきたら、だんだん本気になってきました。算数の過去問で解らない問題があっても、先生が解るまでしっかり教えてくれたので頑張れました。第一志望は学院中学で、先生が過去問をくれたので家で勉強して塾に持って行って解らないところを教えてもらったりしました。附属中は到底合格できないと思っていました。だけど残り一週間程になった時に先生からGSで受かった人の話を聞いて残り1週間頑張るって勉強しようと思えば勉強したら到底合格できないと思っていた附属中に合格できました。志望校だった学院中学は補欠合格だったので、もっと早くから頑張るって勉強していたら良かったなと後悔しました。でも附属中には合格できたのでよかったです。

【ご家族のコメント】

年長から入塾し、7年間お世話になりました。マイペースな性格なのでどんどん周りの子達に成績を抜かれて、いつ本気になるんだとヒヤヒヤしましたが、6年生後半の授業で過去問を扱うようになったあたりで、本人のやる気も成績も上がってきました。志望校のオープンキャンパスや文化祭に行きイメージを膨らませる事が頑張る原動力になると思います。最後の2ヶ月は、のんびりな我が子がこんなに頑張れるんだと、そしてOクラスの先生方が全力でサポートして下さる事に感動しました。中学受験でこれだけ頑張れた事は必ずこの先の自信に繋がります。本当にありがとうございました。

STORY 1 2：算数の先生の言葉で…



ND 清心・女学院中学校 合格

(宇品小学校 女子)

私は、入試が近づいてくると、合格できるのか不安を感じるようになりました。そこで、苦手な算数を先生に質問しました。先生は私ができるようになるまで、丁寧に教えてくれました。また、先生から「時間配分が大事。簡単な問題をしっかりとること」と、言われたので、時間配分の練習をし、見直しをするようにしました。

受験当日も不安は消えず、緊張していましたが、今までやってきたことを意識して、一生懸命問題を解くことに専念しました。

そして、無事合格することができました。とても嬉しかったです。

私を励まして支えてくれた家族や丁寧に教えてくださった先生方のおかげで合格することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

入塾してすぐ、算数がかなり進んでおりついていけない状態でした。あまり宿題もしておらず、受験は難しいかと思っていました。

先生方に相談させて頂いた際には励ましのお言葉をいただき、本人に聞いても塾は楽しいということで通わせていただきました。

親は、基本的に生活面のサポートのみで、勉強は本人に任せていましたので、先生方のきめ細かいご指導により、無事合格することができたと感謝しております。

ありがとうございました。

STORY 13：不安なスタートから…



広大附属・ND 清心・女学院中学校 合格

(附属小学校 女子)

私は3年生から大木スクールに通い始めましたが、入塾時から算数と理科が苦手だったため、国語と社会の勉強を優先しがちでした。5年生まではなんとか国語と社会でカバー出来ていたのが、6年生になると、全体的に成績が下がり、下のクラスになる点数まで下がりました。その時、先生から面談の電話があり、励ましの言葉とアドバイスをいただきました。そこから流石にこのままではまずいと思い始め、手を抜いてきた社会と理科の暗記テストも毎週取り組みました。暗記テストは最後まで苦労しましたが、暗記テストのおかげで最後には理科社会のテストではかなり得点がUPしました。苦手な算数は個別指導で重点的に教えてもらい、苦手意識を少なくすることができました。

入試直前は集中して授業を受け、各校の過去問をミスなくとけるよう取り組みました。入試判定テストや模試を何度も経験したおかげで、緊張しすぎることなく本番を迎えることができました。入試当日は先生から言われた「運1：緊張感3：集中力6」を意識し試験を受けることができ、受験校すべて合格することができました。

引っ込みじあんで落ちこぼれそうになっていた私を支え、合格まで導いてくださった先生方、本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

娘は3年生からお世話になりました。3年生の時は授業の内容についていけず、このまま通わせて大丈夫なのか不安ばかりでした。4年生の時は苦手な算数に時間が必要だったため、理科と社会は受講していませんでした。勉強のペースをつかむことができ、理科社会にも手をつけられる状態になったのは4年生最後のころからでした。

苦手な算数を少しでも克服するため、5年生からは個別指導をお願いし、他の科目でなんとかカバーできるまでにもっていくことが出来ました。6年生からは塾にいる時間も増えるので、受験まで体力がもつか不安でしたが、本人は文句を言うこともなく最後まで通うことができました。家族の言葉よりも塾の先生から言われる言葉のほうが本人にやる気を出させるようで、ハチマキをして1月の直前対策はとても楽しそうに通っていました。最後まで本人を励まし見守ってくださった大木の先生方、本当にありがとうございました。

STORY 1 4 : 自分の武器になる教科を作ろう



広島学院・修道・AICJ（東医）中学校 合格

（附属小学校 男子）

僕は3年間大木スクールに通いました。まったくまともに勉強をしたことのなかった身からすると宿題の量が多く、大変でした。

僕は最初これといった得意科目がなく、テストで点を稼ぐことができませんでした。しかし、大木スクールの先生から本を読むといいよと言われて、大木文庫の本や小学生新聞を読むようにしていくと、苦手科目の一つであった国語の点がちょびちょび伸びてきました。そこで、国語の授業をちゃんと聞きながら、もう少し読書量を増やしていくと、国語が少しだけ点を稼げる「武器」になりました。

6年生になると、塾の授業時間が増え友達とも遊べない日々が続きました。特に夏休みが終わると覚えなれないといけなことも増え、メンタルがやられて心が折れそうになりました。でも周りの友達も頑張っている姿をみているので頑張れました。親からは、受験が終わったらまた遊べるからと励まされ、モチベーションを何とか維持しました。

受験が始まる直前に意識するようにしていたのは2つあります。1つ目は、字をきれいに書くことです。字が汚いと自覚していたので、漢字で減点されないように、きれいに書くことを心がけました。2つ目は、算数などで読み落としをしないようにするために焦らないように気をつけることです。この二つに気を付けることによって、最後の最後にぐんと点数が伸び、D判定だった学校もA判定に変わりました。

入試当日は、試験会場で大木スクールの先生と会ってアドバイスをもらえたり、同じ教室に学校や塾の友だちが何人もいたりしたおかげで緊張がほぐれました。

受験勉強で大切なことは、決めたことは必ずやる素直さと先輩方の合格体験記に書いてありましたが、本当にそのとおりだと思いました。そうすることによって自分の武器になる教科もでき、乗り越えることができると思います。

最後に、大木スクールの先生方、三年間ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

大木スクールの入塾説明会がつい先日のような気がします。遊びたい盛りの我が子がついていけるかなとも思いましたが、厳しい環境で成長してほしいと入塾を進めました。今振り返ってみると、順風満帆には程遠く、現実には想像以上に厳しかったというのが率直な感想です。

我が子はまさに「男子小学生」という感じで、遊びたい気持ちがなかなかコントロールできませんでした。家での宿題も最低限をやっとクリアするかしないかくらいで、暗記テスト

もなかなか進みません。塾のテスト結果にも波があり、成績は安定しませんでした。中学受験に向いていないのではないかと思うことも多々ありました。

しかしながら、大木スクールの先生方は、そんな我が子に非常に根気強く向き合ってくれました。その結果、周りも熱が入る6年生の後半、ようやく勉強に前向きに取り組むように変わっていきました。

この厳しかった3年間の戦いを乗り越えることができたのは、まさに大木スクールの先生方のお陰であり、お礼の言葉しかありません。このまま受験を迎えて大丈夫だろうか…という私の不安な気持ちは、節目に実施される先生方との面談で、的確なアドバイスをいただき、きれいに払しょくされました。大木スクールで頑張った経験は、今後の我が子の人生の大きな財産になると思います。本当にありがとうございました。

STORY 15：授業中気をつけたこと



広大附属・ND 清心・女学院中学校 合格

(皆実小学校 女子)

私は、4年生から大木スクールに通い始めました。始めの頃はZクラスでしたが、徐々に成績が落ちていき、5年生に上がる頃にはGSクラスに落ちてしまいました。5年生が大切な時期なことは分かっていたのですが、なかなかやる気は起こらず成績は低迷したまま、附属はD判定で6年生になってしまいました。6年生の最初の組分けテストの点数が良かったことをきっかけにしてやる気が起こり、今までより勉強も頑張ろうと思いました。

私が授業中に気をつけたことは2つあります。1つ目は、先生の話をしっかり聞き、理解することです。理解しないと後の内容がわからなくなってしまうので、わからなかったらじっくりと考え、わからないことがないようにしました。2つ目は、ノートをとることです。ノートをとることで何回でも見直せて復習に使えます。特に社会ではテキストにはない知識がたくさん教えられるので、ノートをとらないとわからないことが増えてしまいます。私は6年生になってこの2つのことをしっかりやるようになりました。すると、テストでは偏差値60より少し上ぐらいをキープし、週テストのコースもCコースを維持できるようになりました。入試直前期にはほぼ毎日塾にいて、1日の半分くらいは塾にいるようになりました。大変だったけどつらい、やめたいとは思わず、受験が終わった今でも懐かしく思います。入試直前には社会の年代やニュース最前線の暗記を頑張りました。算数は図形が苦手なので図形の問題演習を徹底的にしていました。理科はJUMPの問題を繰り返しやりました。また、私は国語が安定せず、日によっては偏差値が10以上離れてしまうので国語は運のみでした。だけど漢字だけは頑張って覚えました。第一志望に合格できたときは本当

に嬉しかったです。私が合格を手にしたのは私を支えてくれた家族と、熱心に授業をしてくれた大木スクールの先生方のおかげです。本当に今までありがとうございました。

【ご家族のコメント】

娘から、中学受験したいと言われ、第一志望に強いときいた大木スクールに通い始めました。全てが初めての事で、最初は戸惑う事が多かったです。他に習い事をしていたのもあって宿題が最後まで終わらずに、それなのにまた次の宿題をもらうことがあって、心配したこともありました。

しかし私の心配をよそに、娘は、辞めたいと言ったことはなくて新しい事を習うのが楽しそうでした。先生方の授業が楽しかったのでしょう。

本人の意識が変わったのが、6年になって、特に社会の成績が伸び出し、合不合判定テストで少しずつ結果が出るようになってからです。

受験会場で、先生方と挨拶をして、消しゴムとカイロをもらった事が心強かったと言っていました。3年間、ありがとうございました。

STORY 16 : 5年生からのスタート



広大附属・ND 清心・女学院中学校 合格

(翠町小学校 女子)

私は小学5年生になるタイミングで大木スクールに入塾しました。入った頃は先に進んでいる授業についていくことができなかつたこと、教科によって成績の差が激しくあまり良いとはいえない判定が出ることに不安になることがありました。授業を集中して受けていると成績は良くなってきましたが、入試に対する緊張や心配から入試直前に得意教科の成績が不安定になり、このままでは自分の行きたい学校に行けないのではないかと不安になることもありました。けれど、大木スクールのアットホームな雰囲気と先生方の熱心なご指導により、「中学受験」に大切な考え方を定着させていったことで、もっと努力すれば合格できるかもしれないと自信が持てるようになりました。また、「合格」という同じ志を持つ塾生とともに高め合う環境で、自分が受験する意味や中学校に入ってしたいことを考えるようになったことで「合格したい」という思いがより強くなり、今まで以上に受験勉強に真剣に取り組もうと思えるようになりました。

入試当日には先生方に「いつも通りやればきっと大丈夫」と温かい言葉をかけていただいて、安心して試験を受けることができました。大木スクールの支えがあってこそこの「合格」という結果だったので、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました

【ご家族のコメント】

このたびは、希望校に合格することができ、大木スクールの先生方には感謝しております。初めての中学受験で分からないことだらけでしたが、面談などで苦手科目の対策法と一緒に考えていただいたり、直前には複数校受験することが合格の秘訣とアドバイスをいただいたり、塾の方針や中学受験のノウハウを教えていただいて「合格」という目標を達成することができました。12月頃、得意科目が一時成績不調になった際にも、「あるんです。よく、これを乗り越えましょう。」と先生に励ましていただいたことで、ただやみくもに不安に苦しむことなく、本人も前向きに気持ちを切り替えることができたのではないかと思います。思い返せば楽しそうに通塾していた日も多く、良い環境で受験勉強をできているのだなと感じておりました。入塾したタイミングが遅く、授業もずいぶん先に進んでいたのですが、本人は追いつけ追い越せで大変だったと思いますが、そんなストレスにも負けずに最後まで頑張ることができたのも、先生方の支えがあったからだと思います。本当にありがとうございました。

STORY 17：やりきるやる気



ND 清心・女学院・安田中学校 合格

(宇品小学校 女子)

私は、4年生から大木スクールに入りました。

最初の頃は、勉強が楽しく感じられとても頑張っていました。

そのため、4年生の頃は成績が安定して良かった方でした。

しかし、5年生終わりごろから成績が良かったり悪かったりを繰り返し、6年生ではとうとうGSクラスからOクラスに落ちてしまいました。「なぜこうなったのか」「どうやったら戻れるのか」と考えると、私は『やる気の問題』であると分かりました。

気づかせてくれたのは家族でした。

そして、また私は勉強を楽しみつつ頑張っていました。

私は、中学受験で今後も使える大切なことが分かりました。

それは、『最後まで諦めず初心を忘れず頑張る続けること』です。

これからもこのことを心に刻んで物事に励んでいきます。

家族そして大木スクールの先生方、3年間ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

兄の影響でどうしても中学受験をしたいと言いだした娘。

兄がとんでもなく大変だったので正直やめて欲しく3年生から通塾したいという娘に1年間考える時間を与えたのですが、やはりやりたいと言う娘。スタートする時に約束として、どんなに辛くても最後までやりきることを約束し4年生より開始しました。

初めは、やはり1年間やれなかった希望の通塾のためやる気に満ちておりました。成績優良者に名前が載ったりすることがまた増々やる気を出させてくれました。

しかし、5年生になりだんだんとやることも多くなったり、難しくなったり、少しずつ家での勉強への向き合い方が変わり始まりました。そんな中、周りのお友達はどんどん成長していき、いつの間にか置いていかれてしまった感じになり、最終的に6年生初めにクラス落ちして『受験をやめたい』と言いだしました。

そんな娘とたくさん話しました。塾で出される順位とかが気になるのは分かるけど、最終的にはやり始めた自分自身の目的や約束したことをやりきる事が大事なんだよと話し、もう一度娘のペースでできることをコツコツやっていくことにしました。

最後にはOクラスで先生方に助けていただきながらお友達と楽しく授業がやれたことでいつの間にか前向きな娘に戻っておりました。

結果、本人も納得できる中学受験となり本当に良かったです。

今まで娘を支えてくださった先生方に感謝いたします。

本当にありがとうございました。

STORY 18：困難を乗り越えて



広大附属・広島学院・修道・城北中学校 合格

(附属小学校 男子)

僕は、3年生から大木スクールに入りました。初めの際は成績も良かったのですがだんだんと成績が下がっていきました。頑張っても成績が上がらないことにモチベーションが下がっていき受験をやめたいと思うようになってしまいました。しかし、先生たちが励ましてくださり受験を続けることを勧めてくれたりしたおかげで、引き続き大木スクールで頑張ることになりました。算数では、授業後の算数補習に積極的に参加することで成績が上がっていったと思います。国語では、問題文中の「正しくないものを選びなさい」などの条件に線を引くことに注意してやりました。そうすると、問題文の条件の見落としによるミスが減ると共に問題文で問われていることが分かりやすくなり問題が解きやすくなりました。社会では、4、5年生の時はせずにさぼっていた暗記テストを6年生の時にするようになり、

一定のテスト数をクリアしていなければ貰えない入試必勝編などのテキストを貰うことで勉強に対する意欲が上がっていきました。また、社会の先生の温かくも厳しい年代暗記テストも合格と言ってもらえるまで何度も繰り返し受けに行きました。理科は、気になったことを自分で調べ、予習シリーズなどを書いてあることを完璧に覚えることを目指し、計算問題への対策として、条件の見落としが無いように問題文をよく注意して読み、線を引くことを癖づけました。そうすることで条件が整理でき問題を読む際の意識が変わっていきました。6年生の後半からは中学入試判定テストの結果もどんどん上がっていきました。中学受験の本番の日では、受験会場に駆けつけてくれている大木スクールの先生方が具体的なアドバイスを言って励ましてくれました。そのおかげもあって入試では落ち着いて解くことができました。精一杯勉強をしたらもうすることはないのであとは神様に「いい結果を残せるようにしてください。」とお願いをしました。最後は神頼みでしたが、第一志望合格という良い結果を残すことができました。今まで僕を支えて中学受験を一緒に乗り越えてきた大木スクールの先生や親族や家族のみんなに感謝したいです。

【ご家族のコメント】

5年生になり学習しなければならない学習量に驚くこともありました。授業、復習、週テスト、週テストの直しといったサイクルで余裕なく過ごすこともあり、遊びに行かず努力を続けてもなかなか結果が伴わず、それが繰り返されることで本人も徐々にモチベーションが下がっていきました。手遊びなど気が散ることが多く集中力が不足していることも成績が上がらない原因だったと思います。受験を乗り切るには精神面を含め不足している面が多いと感じ、担任の先生に受験をやめようかと思うと相談させていただいたこともあります。面談では諦める前に授業を真剣に受けるなど、やるべきことをしっかりやってみようと言われもう少し頑張ってみようという話になりました。家庭では見えていなかった部分を知ることができると共に、結果がどうであれ中学受験という困難を乗り越えることが人としての成長につながると考え直し中学受験を続けることにしました。

自ら隙間時間を見つけて暗記をしたり、小テストを受けたりといったことを繰り返すことにより、6年の後期というより受験直前である6年の秋以降からようやく成績が上向きになってきました。その時は本当に嬉しそうな表情をしており続けてきて良かったと心から思いました。大木スクールの先生が厳しくも、良い点を取った時に文具券をくれたり、テスト後におもしろいミニイラストを描いてくれたりすることで最後までモチベーションを保っていったと思います。受験が終わってみて一息ついた今、辛いときもあった分、受験を通して大きく成長できたと思えました。本当にありがとうございました。

STORY19：各教科の大事なこと



ND清心・女学院・安田中学校 合格

(仁保小学校 女子)

私は4年生から大木スクールに通い始めました。はじめはOクラスでしたが、だんだんと成績がのび、Zクラスに上がることができました。算数は間違えた問題を繰り返し解いたり、問題文をよくよく読んだりすることが大事です。国語は漢字と語句の意味を完璧に覚えたり、文章の中で大切なところに線を引いたりすることが大事です。理科はSTEPをとにかく暗記したり、間違えた問題は復習したりすることが大事です。社会は暗記を早めにしたりと、授業をよく聞いてメモしたりすることが大事です。特に間違えた問題を繰り返し解くことは大切だと思います。算数の点数が悪かった時に私が実際やってみると点数が上がりました。また理科の点数がすごく悪かった時にSTEPの暗記をひたすらしたら点数が少し上がりました。最後の最後まであきらめずにがんばることができたのは大木スクールの先生方のおかげです。3年間ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

3年間お世話になりました。

人見知りの娘が、知り合いの誰もいなかった大木スクールに通いたいと言った時は驚きと心配でいっぱいでした。4年生の頃は宿題やテスト直しをさせることに精一杯でした。5年生の中頃から、自分でスケジュールを立てて計画的に学習できるようになったと思います。6年生になり、思うように成績が伸びない時は、面談などを通じて学習方法の指導をしていただきました。

大木スクールで、信頼できる先生や一緒に頑張れる友達に出会ったことで、3年間勉強を続けてこられたのだと感謝しています。

これから色々なことを経験して大きくなっていく中で、大木スクールで頑張った3年間は娘にとって大きな力になってくれると思います。

どんな時も前向きな声をかけてくださり、一緒に頑張ってくださいありがとうございました。

STORY20：6年の夏から



広大附属・学院・修道・城北・東雲中学校 合格

(東雲小学校 男子)

ぼくは、5年生の「灘・開成への算数」から入塾し、6年生の夏期講習から通常授業を受けました。最初は知り合いが少ないこともあり、とても緊張していましたが、すぐにみんなと仲良くなることができました。

授業を受けはじめたころは、算数の成績が上がらず、Zクラスの中で最下位だということも多々ありました。しかし、先生の解説をしっかりと聞いて、分からない所もわかるようになりました。受験本番は分からない問題はなく、すべて解くことができました。

ぼくは最後の半年間のみ授業を受けたということもあり、理科暗記テストはHOPの全て、社会暗記テストは51個残した状態での受験となりました。今思えば、暗記テストをもっとしておけば解けたのにとということも多々ありました。やはり、GバイブルやCテキスト、HOPやSTEPは偉大だと思いました。

そのような状況でもぼくが志望校に合格できたのは大木スクールの先生方のサポートのおかげだと思います。ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

5年生から「灘・開成への算数」は始めたものの、他の習い事を優先していた為、通塾が遅くなり、6年生の夏期講習から本格的に通い始めました。国語では、語彙力が足りず、基本的な記述の解答の仕方が身につけていませんでしたが、先生のサポートのおかげで最後の追い込みの時期に一気にのびました。

通塾する前も家庭では受験に向けて勉強はしていましたが、やはり家庭内だけでは限界があるので、塾でしっかりサポートしていただけて良かったと思っています。

途中、中だるみしたり、成績が伸び悩んだりしたこともありましたが、先生方が本人の性格を把握して息子に合った言葉がけをしてくださったので、最後までやる気を出して勉強に取り組むことができ感謝しております。

入試当日、受験会場に行くまでは緊張していた息子ですが、会場で先生に声をかけていただいたり、一緒に勉強してきた仲間と話したりしているうちに、緊張がほぐれ、ベストな精神状態で本番に臨めたようです。

受験が終わった後でも、まだ大木スクールに通いたいと言うくらい、授業も友達と一緒に学んだ時間も楽しかったようです。

大木スクールの先生方、一緒に学んだ友達、皆様ありがとうございました。

STORY 21 : とともに戦うライバルと



西大和・広大附属・学院・修道中学校 合格

(宇品小学校 男子)

僕は4年生の時から大木スクールに通い始めました。しばらくしてZクラスに上がることができましたが、僕は野球をやっていたため、4年生のころはGSクラスで授業を受け、日程が合うようになった5年生からZクラスデビューしました。そこからの成績はとても危なっかしく、Zクラスから落ちないか心配していました。その大きな原因は苦手科目である算数の存在です。膨大な範囲をこなさきれないことや僕の「ミスをしやすい」という性質によって苦しみました。特にミスは、ほかの科目にも大きな影響を与えるため改善しなければいけない課題でした。

この問題の解決（完全ではないけれど）のきっかけは友達—ライバルの存在です。

6年生になるにつれ、ライバルたちが成績を上げてきて、相対的に順位が落ちていくことで、僕の中にいる「負けず嫌い」が発動。そもそもの「やる気」や勉強の仕方が改善されていき、結果的に6年生の夏ぐらいから成績が上昇・安定しました。具体的にミスをなくすために行った方法は、基礎をひたすら積み上げること。土台がしっかりすることによって、計算も、国語の抜き出し問題も、これまでよりも落ち着いてすることができたと思います。その中で分かったことは、自分の生活が勉強に直結することです。僕は忘れ物が多く、おまけにちょっとふざけ気味です。その部分が「ミスをしやすい」という欠点につながったのだと思います。今からじゃもう遅いけれど、私生活をもっと早く見直しておけば…と思っています。

そして秋になり、授業がほぼ毎日でおまけに難関校対策の授業もあったため、くたくたに。そこでも僕を救ってくれたのは友達でした。友達がいるから頑張れる。友達がいるから授業が楽しい。同じ境遇の仲間同士が集まることができる大木スクールは最高ですね。

そうこうしているうちに直前期（12月～1月）へ。第一志望である広大附属の問題をひたすら解きました。広大附属の入試の日の朝、いまだに算数がやばいと思っていた時、激励に来てくれた先生の、「お前は絶対に受かる」という言葉で自信がつき、無事合格できました。

また、西大和はなんと試験2週間前に受験を決めることになりましたが、西大和の入試の直前に先生から言われた、「西大和の受験を決めてから、お前目つき変わったな」という言葉が、今でも印象に残っています。難関校は自分が「挑戦者」として臨むことができ、貴重な経験になりました。

いつも迎えに来たり、弁当を作ったりしてくれた家族、知らぬうちに支えてくれた友達、僕の気持ちを引き出してくれた大木スクールの先生方、どうもありがとうございました。

【ご家族のコメント】

我が家にとって、中学受験は貴重な成長のプロセスでした。

広大附属の受験の日に迎えに行った際、試験を終え出てきた息子の姿がとても頼もしく、立派に見えたことを今でも感慨深く思います。入塾した頃はまだ幼く、受験はどこか他人事で、ノートの取り方はぐちゃぐちゃ、言われたことをメモして帰ってくることもできなかった息子が、受験の最後の方は自分の力で受験勉強に向き合っていました。第1子のこともあり、中学受験は本やブログで読んだくらいで、親が何をしたいのかかわからず、けれど、何か一生懸命してあげなきゃいけない焦燥から、チクチク細かなことを言ってしまう時期もありました。

そんな息子にとって、受験が自分のものになり始めたのは6年生になってからです。6年生の初めに、母親の私が育休復帰をしなければならず、こんな大事な時期にサポートしてあげられる時間が少なることを懸念していました。しかし親の心配をよそに、難しい問題や暗記テストに苦しみながらもコツコツと向き合い、そのころから成績も安定していき、「もしかして今までが過干渉だったのでは？」と反省しました。

大木スクールは、息子の性格にとってもよく合っていたように思います。野球と両立したかったため、練習や試合で出席できないときは、録画や Zoom で柔軟に対応してくださいました。そしてなにより挑戦する楽しさを教えてくれました。

直前期の塾生活はよりハードになっていましたが、一緒に切磋琢磨して頑張ってくれる友達や先生方の存在のおかげで最後まで楽しく塾通いができていたように思います。息子にはこれからも仲間とともに、いろいろな世界を見て、学び続け、やりたいことを実現してきて欲しいと願っています。

これまで支えてくださった大木スクールの皆様、ともに戦ってくれた仲間たちにこの場を借りて厚く感謝申し上げます。

STORY 2 2 : 自習室で切磋琢磨



広大附属・広島学院・愛光・修道中学校 合格

(宇品小学校 男子)

僕は4年生のときに大木スクールに入塾しました。

4年生のときは2教科のうち、主に算数に取り組みました。算数は得意だったので点は伸びましたが、苦手な国語は伸び悩みました。

5年生のときは理科と社会を加えた4教科になり、暗記する内容も増えました。土曜日は必ず塾に残り社会の暗記はそのときに終わらせるようにしました。家で勉強することが苦手だったので、学校の放課後や時間があるときは大体塾の自習室で勉強していました。

6年生では夏期講習までは5年生のときと同じ感じでしたが、夏期講習では半日以上塾に通っていました。すると夏休み明けのテストで良い点数を取れるようになりました。

6年生の秋以降、少し成績が下がり、不安もありましたが、自分を信じて継続して勉強しました。

受験直前期の各教科↓

算数：得意科目だったので宿題以外のことはしませんでした。

国語：確実に点を取るために文法に力を入れて、物語文の対策は大木文庫から小説を借りて読んでいました。

理科：受験前日まで暗記試験をたくさん受けました。

社会：暗記試験をちょっとサボっていたら先生に喝を入れられたので暗記を一気に終わらせました。

受験当日は、心を落ち着かせるため、小説しか試験会場に持っていきませんでした。第1志望の合格発表のときは、特に心が落ち着かなかったのですが、自分の番号を見たときは本当に嬉しかったです。

これまで丁寧に勉強を教えてくれた大木スクールの先生方、そして一緒に励ましあって勉強をしてくれた友達には感謝の気持ちしかありません。本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

娘が受験した時も大木スクールでお世話になったこともあり、息子が塾に通うなら大木スクールと決めていました。息子が通った3年間を振り返ると、大木スクールでは一緒に切磋琢磨できる友達もでき、本人にとって、とても有意義な時間を過ごすことができたものと思っています。

入塾当初、家では宿題程度で自主的な勉強などは全くしていませんでしたが、親として特に何も言わず、本人任せでした。しかし、学年が上がるに連れて、教科の内容も難しくなり、

直前期には塾も毎日あり勉強をたくさんしたので、それなりの自信がつき、僕の性格もあると思いますが、受験当日はあまり緊張せず、緊張で解けない、ということはありませんでした。

【ご家族のコメント】

1年生のころからお世話になり、無事本人の希望する学校に合格することができました。大木スクールには、都度ご相談に乗っていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

4、5年生の時の組分けテストでは、成績がいい時と悪い時の差が激しく安定することがなく、そのたびに先生方へ相談に伺っていました。六年生になると合不合格判定テストになり、これまで得意だと思っていた科目も思うような成績がとれなくなり、親としても、間違えノートの作成やコピー、暗記の読み合わせ等、できる限りの協力はしてきたつもりでしたが、判定結果を見ては、家庭での学習になにが足りないのだろうと悩む日々が続きました。先生方にはアドバイスをいただいたとおりにしていたはずなのに…と思うのですがテストを受けるたびに不安になっていました。特に夏休みは、親子ともに苦しい時期でした。夏休みにまとまった時間があるので、これまでの総復習をできると思っていたのですが、本人は集中できていないように見え、その不安のまま、夏休み中のテストは下降の一途でした。夏休み明けのテストも成績が向上することはなく、もう第一志望は絶望的では、と何度も思い、志望校を変更することも検討していました。しかし、秋の三者面談で先生とお話をしていく中で、先生に指摘された事項が本人に受験への自覚をようやく目覚めさせたように思います。私たちも、親の知らない塾での一面を先生からお聞きし、本人がやる気になれない原因を知ったことで、あらためて親子で頑張るための軌道修正をするきっかけとなりました。面談後に成績が急上昇することはありませんでしたが、やるべきことが明確になり、自宅でも暗記やその日の授業でやったプリントの間違い箇所の復習、と少ない自宅学習の時間でも科目を絞って学習するようになったことで、淡々としながら本人の気持ちが安定していったように思います。

最後の1年間は精神的にも体力的にもつらい時期でしたが、それまでの「週テストで力試し→復習」の繰り返しを信じて、先生方の助言とともに乗り越えることができました。我が家は社会の暗記が最後まで課題でしたが、大木スクールのカリキュラムと宿題をきちんとこなしていけば、希望の学校に合格できるとしみじみ感じています。

子供の最後の頑張りを後押ししてくださり、本当にありがとうございました。

STORY24：基本の大切さ



ND清心・女学院・なぎさ・安田中学校 合格

(宇品小学校 女子)

私は4年生の初めに入塾しました。

私は特に算数と社会が苦手でした。算数はずっと成績が上がらず、週テストを振り返ってみると基本ができていないとわかり、それからは毎日計算を解いたり補習に参加したりしました。すると、週テストなどで基本ができるようになり点数も上がっていきました。社会は週テストなどではできていたのに、入試問題になると形式が変わり点数が取れなくなっていきました。

入試に近づくと合否判定が出るテストも多くなり、焦りを感じていました。そんな時に先生に「算数と国語は安定して取れているから、社会は暗記テストをがんばれ」という言葉をかけていただき、安心して頑張ろうと思えました。そこからは毎日暗記テストを受けて授業中も綺麗にノートにまとめることを意識しました。

入試本番では、先生方に安心できる言葉をかけていただき集中して臨むことができました。入試前に見返した社会のノートに書いてあることが入試に出たので、授業中のことは丁寧にまとめておくと後から役立ちます。

【ご家族のコメント】

姉に引き続き、4年生から入塾し大変お世話になりました。本人も3年間よく通い、本当に頑張ったと思います。

国語はもともと得意でしたが、算数も基礎をひたすら繰り返すことで徐々に伸び、最後まで理科、社会の暗記にも取り組んでいました。成績が伸び悩む時期もありましたが、基礎問題をしっかり確実に解くことを意識し、直前のテストで志望校のA判定を取れたことにより手応えを持って本番の受験に臨めたのではないかと思います。

また、受験当日の先生たちからの応援の声掛けにより、本人が自信を持った顔で試験会場に入って行ったのが印象に残っています。

親としては、最後は本人が安心して勉強できるよう見守ることしか出来ませんでした。第一志望校の合格が分かった時は、これまで頑張ってきた本人の努力が形になり、本当に良かったと嬉しく思っています。

先生の皆さん方、最後までご指導本当にありがとうございました！

STORY25：熱中した4年間



ND清心・女学院中学校 合格

(宇品東小学校 女子)

私は4年間大木スクールに通っていました。将来の夢に向かって、熱中して勉強に取り組めた4年間だったと思います。

最初は、当てられて答えられないことに怖さを感じていましたが、答えられなくても、理解できるように先生に細かいところまで教えてもらえたので、次第に、安心して授業を受けることができました。

受験間近になると、苦手な分野を重点的に復習しました。そうすると、最後の判定テストでその頑張りが結果に表れたので、もっと前から復習していれば良かったと後悔しました。

「どのような結果であっても自分はやりきったと思えるように努力しなさい」という母の言葉を胸に、受験前は参加できる授業はほぼ全て積極的に受講して、悔いが残らないように受験まで頑張りました。

私の受験にはたくさんの人がサポートしてくれました。父は分からないところを教えてくれたり、暗記の問題を出してくれたりと勉強面で、母は食事や体調管理、塾の迎えなどの生活面でサポートしてくれました。そして、大木スクールの先生方には、合格に向けて熱心に教えていただき、とても感謝しています。

受験当日は、体調が優れない私に励ましの言葉をかけてくださり、緊張もほぐれ、落ち着いて、学んだことを発揮することができました。

本当にこれまで有難うございました。

【ご家族のコメント】

現在高校3年生の息子も大木スクールにお世話になり、塾友とともに楽しく受験に取り組んだこともあって、娘も入塾させました。

振り返れば、学年が上がり塾に通う時間が増えるにつれて、疲れている顔を見せることもありましたが、思うように成績が上がらず、涙することもありました。親としては、仕事に時間をとられ、十分に寄り添ってあげることもできず、ほぼ塾と本人に任せっきりで、反省の思いばかりが浮かんでいますが、それでも娘は一度も「辞めたい」と言わず、最後までやりきってくれました。

レベルの高い塾生達とともに、質量ともに充実した授業を受ける環境に身を置き、最後まで粘り強く、コツコツと努力を続けることで、少しずつ自信をもつことができ、そして受験に臨むことができたのだらうと思っています。

息子は、今大学受験に向けて勉強中ですが、同じ学校に進学した塾友とともにその後も充

実した学校生活を送り、「中学受験をして本当に良かった」とつくづく語っています。娘にとっても、この経験は必ず今後生きてくると思いますし、早速「次の目標に向けて頑張る」と言ってくれており、頼もしく思っています。

最後に、子供達を長い間ご指導いただき、本当に有難うございました。

STORY 26：清心合格に向けて…



ND清心・女学院・安田中学校 合格

(翠町小学校 女子)

私は4年生で大木スクールに入塾しました。4年生の頃は、算数と国語だけ週テストを受けていましたが、5年生からは4教科受けるようになりました。国語と社会は比較的得意でしたが、算数と理科は苦手で6年生までそれが続きました。

理科は単元ごとのまとめノートを作ったりして成績が上がったこともありましたが苦手なことに変わりはありませんでした。

6年生の面談で、清心が第一志望なら算数その1でしっかり点が取れるようにしないといけないことと、テキストの全部ができる必要はないということを教えてもらい、そこからはとにかく計算と予習シリーズや演習問題集の1行問題を繰り返し解くようにしました。過去問でも、その1で自分が間違った問題を直前まで解きました。

その結果、受験前の清心過去問演習では算数で高得点が取れるようになりました。

もともとは朝の時間に計算をやっていましたが、12月からは漢字テキストの総復習も始め、間違えた漢字はノートに書き出して受験当日も持っていきました。

私は1月になると夜、深く眠れるようにアイマスクを着用して寝ていました。そして、受験前日は塾から帰るとご飯を食べてお風呂に入り素早く寝るようにしました。

受験当日の朝は、かき玉スープでタンパク質をとり、体を温め試験会場にむかい、先生方の励ましをうけ、自信を持って試験に臨むことができました。

大木スクールの先生方、応援してくれた家族、一緒に頑張った友達に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

5年生の頃から女子校志望で、学校説明会や文化祭に行き気になった清心を第一志望にしました。姉に続き2人目の中学受験ということもあり、ある程度勝手はわかっているつもりだったのと、親が熱くなりすぎないようにしようという気持ちでいましたが、気づ

いたら6年生になり、成績にヒヤヒヤすることも増えてきました。

夏休み以降は一緒に勉強に取り組み、親もサポートに入ることが増えました。一生懸命頑張っている中、なかなか結果が出ず、本人も弱気になったり諦めモードになったりすることもありました。

親ができることとしては、好きな文房具を揃えたり、お菓子で気分転換したり、寝る前にマッサージをしたり。小さな楽しみを用意して、少しでも気分良く毎日が過ごせるように工夫し、直前期でもリラックスして過ごすことができていたように思います。

自宅勉強中は親子でぶつかることも多くありましたが、受験直前、最後の自宅勉強が終わった後に「これまでありがとうございました」と言ってくれたときは、びっくりしたのと同時に嬉しくて涙が出ました。

先生には折々の面談では的確なアドバイスをいただき毎回心が軽くなりました。あたたかいご指導のおかげで第一志望に合格することができ感謝しております。ありがとうございました。

STORY27：4教科のノート



広島学院・修道・広島城北・AICJ中学校 合格

(伴小学校 男子)

僕は4年生の時は、大荒れでした。授業中テストの点数が悪いたびに、机を倒したり、プリントをぶちまけたりしました。テストの点数が高い時には他の子をからかったり、冷やかしたりしました。

そして、5年生になると本格的に授業を受けたり、組分けテストや週テストを受けたりするようになりました。最初の方は、テストの点数が悪く、先生に「もう少し勉強をしよう!」と言われました。それからは少しだけやろうと頑張るけれど、成績は上がらないという状況に陥っていました。その時に先生から言われました。「ノートを書く習慣をつけよう」と。そして、僕は社会の時だけノートを書くようになりました。その後、国語や理科も書くようになりました。

6年生になると、いよいよ受験の対策に力を入れて、内容も難しくなっていました。しかし、算数だけは、あいかわらずノートを書かず夏期講習をむかえました。夏期講習では、友達とよく喧嘩をしました。しかし、少しずつそのことを吹っ切って勉強できるようになりました。そんなある日、両親に言われました。「算数のとき直しはしないの?」「算数のノートは書かないの?」と。最初は「別に書かなくてもわかるから別にいいもん」と思っていました。しかし、いざ解き直しをすると算数の問題がわからないことに気づきました。ようやく僕は算数のノートを書こうと決心しました。すべての教科でノートを書き、復習をしてい

くと、成績が、頑張った回数に比例して伸びていきました。しかし受験が近づくにつれて、成績の伸びが悪くなり、いい時と悪い時が波のようになりました。

ついに本番。ものすごく緊張しましたが、深呼吸や先生の激励を思い出しながら、頑張りました。そのおかげか、すべて合格しました。

今まで支えてくれた人に感謝の気持ちを伝えたいです。支えてくれてありがとうございます。

【ご家族のコメント】

息子が合格できたのは、大木スクールの先生方・スタッフの方々のおかげです。温かく、必要な時には厳しく、ご指導くださりありがとうございました。

入塾当初から 6 年生の夏休み前頃までは、勉強以前の問題があまりに多く、本当に厳しい状態でした。自分の思い通りにいかないと機嫌を損ねて勉強どころではなくなったり、するべきことも、自分が納得できなければずっとしなかったり、という状況でした。叱られることも多く、本人もうまくいかないと感じる時期が長かったと思います。

そんな状態でしたが、6 年生の夏休み後くらいから、以前より精神的に落ち着いてきました。成績は相変わらず波がありましたが、一緒に過ごして成長を感じることに、褒めることが増えてきました。

試験当日には、本人なりに緊張はあったと思いますが、落ち着いていて頼もしささえ感じました。

息子は、私たち親だけが関わったのでは、ここまでの成長はできなかったと思います。一貫して、温かく見守りご指導くださった、大木スクールの先生方・スタッフの方々のおかげです。ご迷惑をたくさんおかけいたしました。息子を一緒に育てていただき、ありがとうございました。

STORY28：弱点を克服して



広大附属・学院・修道・城北中学校 合格

(附属小学校 男子)

ぼくが大木スクールに入ったのは 4 年生からです。ずっと Z クラスを維持すること、S コースになるということを目指していました。

ぼくの弱点は国語で、常に足を引っ張っていました。でも、授業中の交換採点で友達の記述を見て、登場人物の心情の書き方を真似したり、書いている意味を友達に聞いて教えてもらったりしていたら、記述の部分点がとれるようになりました。他には、先生や友達からす

すめてもらった大木文庫の本を読んだり、個別を受けたりすると、だんだん国語の点数が上がっていきました。

それから、6年生の秋には得意科目だった算数でケアレスミスが続いた時は、算数の先生と面談し普通の授業から本番だと思いながら緊張感を持って解くことに気がつけました。その次の合不合テストで元に戻すことができ安心しました。

試験当日は、今までに感じたことのない緊張を感じていたぼくは先生の顔を見て緊張がやわらぎ、先生からの激励の言葉にとても勇気づけられました。テスト中には先生の言葉を思い出し、何回も落ち着くことができました。

そんな先生方に、3年間熱心に教えていただいたおかげで合格できたと思います。そして、同じ目標を持った友達がいつもいてくれたから、苦しい時も最後まで頑張りきることができました。

【ご家族のコメント】

まず、受験を終えホッと安心しています。一生懸命頑張ることの大切さ、達成感を感じることで良かったと思っています。

この3年間は決して平坦で穏やかではなく、未熟な私は成績に一喜一憂し、息子を傷つける言葉を言ってしまい反省することもありました。それでも、いつも前向きに勉強に取り組んでいる息子の姿を見て、先生方やお友達へ有り難く感じていました。中学受験を通し、この経験がないと得られなかった多くの学びがあり、確実に身につけて成長していると実感しています。これからもこの経験と気持ちを忘れず、新しい目標に向かって前進してほしいと願っています。

いつも仲良くしてくれ分からないところを教えてくれたお友達、勉強面だけでなく精神面でもフォローしてくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

STORY29：サッカーと受験と



広島学院・修道・城北中学校 合格

(附属小学校 男子)

僕は大木スクールで中学受験の勉強を4年生から始めましたが、あまり真面目に宿題に取り組まなかったため、案の定すぐにクラスが落ちました。

僕は1年生のころからサッカーを続けていました。塾との両立をできるだけ頑張ろうとしましたが、成績はどんどん下がり、そしてその下がっていく成績を受け止めることが

できずに苦しくなっていました。

サッカーを続けるのか、勉強に専念するのか、両立するのが苦しくなり、5年生になると、やる気もだんだんなくなり、授業中真面目に授業を受けないこともありました。

一番心に残っているのは5年生の夏期講習です。

授業に行くのが嫌になり家で泣き続け、先生から「まずは塾に来なさい」と直接電話をもらいました。

サッカーのコーチにも相談し、中学受験を頑張れと応援してくれ、何とか夏を乗り切ることができました。

6年生になってもサッカーは続けましたが、少しずつ勉強に時間を費やすようになりました。

真剣に取り組む時期が遅かったので、途中でクラスが落ちてしまうこともありましたが、諦めずに頑張ろうと思い、最後はGSクラスで授業を受けました。

もともと第一志望だった修道中学校の試験では、緊張感を持って集中して受けることができました。

広島学院は合格できるかわかりませんでした、合格することができました。

この受験を通して、僕は勉強の知識をつけるだけでなく、心も強くすることができたのではないかと思います。

なぜなら、つらいことがあっても、先生や色々な人の応援で、めげずに、頑張ることができたからです。

後輩の皆さんも自分が行きたい学校で、どんな中学校生活を送っているかを想像しながら、最後まで頑張ってください。

【ご家族のコメント】

受験が終わり、やっと家族の時間や自分自身の時間にも余裕が生まれたことにほっとすると同時に、3年間を振り返ってみると本当に色々なことがあったと思い返しています。

「塾に通いながらも、1年生の時から続けているサッカーを続けたい」との本人の意思は固く、一方で、成績が落ちていく状況に親としてどのように向きあえばいいのか、このことは常に我が家の課題であったように思います。

5年生の夏、両立に悩み「何をどうしていいかわからなくなった」と涙を流して訴えてきた我が子を見て、私自身もどうするのが正解なのかわからず、一緒に涙するしかありませんでした。

大木スクールの先生に御相談したところ、すぐに四者面談をしていただき「完全にやめてしまうのではなく、少しでも気分転換として続けながら、勉強に取り組んでもいいのでは」との御意見をいただきました。今振り返ってみても、我が子の性格をよく御理解いただいた上で、本人だけではなく保護者の気持ちも汲んでいただいた温かいアドバイスだったと、大変

感謝しています。

途中で試合を抜けて塾に行く、塾に行ってから練習に顔を出す、そんな日々をこなす本人、それをサポートする親……正直大変な思い出も多いですが、結果的に本人が志望する中学校へのご縁をいただいたこと、そして何より最後まで本人が諦めずに大木スクールに楽しく通わせていただき、受験が終わったいま「もう塾に行くことがないのか」と寂しそうに言っている姿を見ると、先生方とお友達に支えられ、心身ともに大きく成長させていただいたかけがえのない時間だったと感謝の気持ちしかありません。

総じて我が家の受験体験は、皆さんの参考になるようなものでは決してないと思いますが（むしろ参考にしていただかない方がいいくらいですが）大木スクールにお世話になったこの3年間は、私たち親子にとっても忘れることはできない大切な思い出になりました。

我が子は4月から新たな環境で中学校生活が始まりますが、この3年間で得たたくさんの経験を活かし、周りへの感謝を忘れることなく、大きく羽ばたいていってくれることを願っています。

先生方、お友達の皆さん、大変お世話になりありがとうございました。

STORY30：4教科の苦手を克服



広大附属・広島学院・修道・城北中学校 合格

(東雲小学校 男子)

ぼくは4年から大木スクールに通いはじめました。最初は社会の暗記ができませんでした。それでも家や塾で覚えていくうちに暗記テストを合格できるようになりました。しかし問題が発生します。それは見て覚えるだけなので短期記憶になってしまうことです。何とか覚えようと色々チャレンジしていくうちに、見るだけでなく書いて覚えることが大切だということに気づきました。また暗記テストは量が多くて大変でしたが、友達と競争しあいながら勉強することが大きな力となり、復習ナビをやることで自信をつけることができました。算数は自分の得意科目でしたが、よくケアレスミスをして点数につながらずショックを受けていました。そこでぼくは間違いノートを作成してもらって解き直したりしました。そうしたらだんだんケアレスミスは少なくなりました。国語はもともと不得意科目でした。中でも文章の読み取りが一番苦手でした。でも個別指導で読み取りができるようになり、選択問題も意図がわかるようになりました。6年生後半で算数の点数が低い時は国語に助けられることが多くなりました。理科は「てこ」が苦手でしたが、支点からの距離と力の積がモーメントになるということを理解することで克服することができました。大木スクールの先生方、本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

大木スクールには、年長からのこぐま会に続き4年生からの3年間お世話になりました。初めは、宿題の量の多さや国語・社会の暗記に苦しんでいましたが少しずつ出来るようになり、やるべきことをこなしていく力が身についてきました。自分なりに何を克服しないといけないかを考え取り組んでいたのも、親としてはできるだけ見守り、テストの結果や勉強の進め方に干渉しすぎないように心掛けていました。しかし、秋頃から得意科目の算数で計算ミスや読み間違いが増え、息子も私も一喜一憂してしまいました。先生からの的確なアドバイスの温かい励ましのおかげで、受験前には算数のケアレスミスも減り好成績に結びついていきました。特に間違った問題は復習ナビを活用して見直しに力を入れました。受験当日は多くの過去問を取り組み志望校対策授業の成果もあり、ベストの力を出すことができたのではないかと思います。

大木スクールの先生方の魅力的で熱心な授業と、切磋琢磨できるお友達に恵まれて、やり抜くことができたのだと思います。本当にありがとうございました。

STORY 31：三人四脚の中学受験



広島学院・修道・城北中学校 合格

(千田小学校 男子)

僕は、5年生で週テスト生になり、新6年生の2月に入塾しました。その5年でテスト生を始めた時から6年の12月までに僕は偏差値を20近くあげました。

大木スクールに入ったのは遅かったけれど、この2年間で一生懸命頑張ったことで、大きく成長できたと思います。

昨年の冬に新6年クラスに入塾してからは成績がぐっと上がりましたが、油断して勉強をさぼった時はクラス落ちしそうになりました。夏休みになっても、まだ勉強のペースがつかめておらず、一週間のうち一日はほとんど勉強をしない日もありました。けれど先生がノートを取り方から毎日やるべき課題まで、基礎を一から教えてくれたことで、夏の間基礎固めができました。そして、秋からは個別クラスを入れることで少しずつペースを上げていくことができました。

冬期講習や1月の特訓は本当にきつかったけど、合格を決定づける大きな力になったと思います。

受験当日も、先生たちに朝会って、いろいろなアドバイスや激励をもらい、緊張する中で

も、しっかりと力を出すことができましたと思います。

科目別でいうと、国語の記述問題は最初のテストではほとんど空白で出していたけど、個別を受けて少しずつ解答ができるようになり、部分点の上昇につながりました。

算数は基礎がとても大事で、「計算」は毎日やった方が、自分のミスのパターンや回答スピードのアップにつながると思います。

社会は先生オリジナルシールや入試必勝編がもらえたりするので楽しくやることができました。

理科の問題も、HOP/STEP/JUMP、特にHOP/STEPをしっかりと暗記して、日々のテキストやプリントの問題を解いてまちがえたところを、わかるまで考えることが大切です。

僕の場合、気象や天体が少し苦手だったけど、お父さんやお母さんと実際に月を観察したりすることでリアルな学習も役に立ちました。

全体としていえることは、基礎をしっかりとやってから応用を勉強することが大切だと思いました。

この受験に向けては、家族や友達と遊びに行くのを我慢し、お母さんがお弁当を作ってくれたり、お父さんが毎日の送り迎えをしてくれたり、勉強のアドバイスや間違えた問題の解説をしてくれました。とても感謝しています。このことがあり、家族みんなで臨まないとは合格はできないと実感しました。

全ての志望校に合格できたのは、大木スクールで勉強することの楽しさを教えていただいたことがもっとも大きかったと思います。大木の先生方、合格まで力強く応援してくださり、本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

いくつか塾を見て回る中、息子の「ここが一番居心地がいい」という一言で、大木スクールへの入塾を決めました。「習い事を続けながら大木スクールに通いたい」という息子の意思を尊重し、週テスト生からのスタートでした。

最初のころは、親子ともに右も左もわからず、先生にお電話で勉強のやり方から教えていただいたのを思い出します。

息子は遅くに入塾し、周りについていくのは、さぞかし大変だったと思います。にもかかわらず、「今日の授業も楽しかったよ！」と毎日キラキラした笑顔を見せてくれた息子を誇りに思うとともに、息子に勉強の楽しさを教えてくださった先生方には感謝しかありません。親子の二人三脚だけでなく、先生やスタッフの方々との三人四脚で進んでいったことが大きな力になったと思います。第一志望へ合格に導いてくださり、ありがとうございました。

STORY 3 2 : 受験生に伝えたいこと



広大附属・広島学院・修道・国際学院中学校 合格

(東雲小学校 男子)

僕は、幼稚園の頃から大木スクールに通っていました。今、無事に第一志望校に合格することができてすごくほっとしています。

僕が合格するために頑張った事は、2つあります。1つ目は、大の苦手科目であった国語の克服です。国語を克服するために頑張ったことは、予習シリーズの問題を解いたり、休憩時間中に大木文庫の本を読んだりしました。そうすることで、国語が苦手と言う意識がだんだん薄れていきました。また、予習シリーズを解き終わったら、いろんな学校の過去問を解いていきました。2つ目は、理科の暗記です。僕は、冬休みになるまで理科の暗記をあまりしていませんでした。そのため、あまり良い成績を取ることができていませんでした。理科の担当の先生から、しっかり暗記をした方が良いとアドバイスを受け、暗記を頑張ることにしました。そうすると、だんだんと理科の成績が上がっていきました。

最後に、受験生に伝えたいことがあります。それは、自分の弱点を早めに見つけて苦手科目の克服に努めることです。そうすると、きっと第一志望校に合格できます。

第一志望校合格へ導いてくださった大木スクールの先生方、心配ばかりかけてしまいましたが、本当にありがとうございました。そして、いつもそばで支えてくれた家族に感謝したいです。中学校でも頑張ります。

【ご家族のコメント】

大木スクールの先生方には、こぐま会・パズル道場・授業で8年間お世話になりました。

第一志望校に合格できましたが、決して順風満帆ではありませんでした。6年生になった頃から、息子は反抗期に突入してしまい、成績も心も不安定な時期を過ごしました。自宅での学習にも集中できておらず、勉強をやっているのかどうか分からない状態で、親子の衝突が増えてしまい辛かったです。このままではいけないと思い、勉強面は塾と息子に任せて、親は環境作りや送迎等のサポートに徹することで、親子共々気持ちが楽になりました。

息子自身、努力が報われずテストの出来が悪い時やなかなか宿題が終わらない時など、心が折れている時もありました。しかし、塾をやめたいと言ったことは一度もありませんでした。これは、塾で良い仲間や先生方に恵まれたことが大きかったのだと思います。

大木スクールに第一志望校合格の報告に行った際、先生と一緒に涙を流して喜んでくださったこと、息子と先生の熱い抱擁は、一生忘れることはありません。最後まで温かく見守ってくださった先生方に感謝申し上げます。本人の力を最大限に引き出し、発揮させてくださった大木スクールに通えて、本当に良かったと思います。ありがとうございました。

STORY33：復習ナビの大切さ



広島学院・修道・城北中学校 合格

(東雲小学校 男子)

ぼくは、4年生の春期講習から大木スクールに通いました。入ったときから算数は好きだったけど、国語と社会はずっと点数が低かったです。6年生になっても、それは変わりませんでした。

6年生の夏期講習では、先生から国語の週テストの問題をもう一度解いて、復習ナビを見るように言われたので、夏期講習のあとに家でやりました。社会は、G・H・Cテキストの暗記テストと演習問題をやって、だんだん点数が取れるようになってきました。

9月から入試の前日までは、休みはほとんどなく、塾に通って問題を解きました。

そして、いよいよ学院の入試の日。1時間目の国語の大問1を少し読んで、ぼくはアレ？と思いました。夏休みに家に帰って取り組んだ、国語の問題と同じ文章だったのです。たまたま復習ナビも見ていた問題だったので、重要なところは覚えていてスラスラと解けました。理科と社会も、大木で暗記を何回も繰り返していたので、本番はとても楽でした。学院の算数は、解くのが楽しかったです。

ぼくは受験をして、先生が言っていた入試を乗り越える秘訣「1：3：6」のバランスを保つというのは、本当だと思いました。応援に来てくれた先生がくれた、カイロや合格消しゴムもうれしかったです。ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

入試当日の会場、張り詰めた緊張感の中、応援に来てくださった先生方一人ひとりに言葉をかけていただいていた息子の後ろ姿を思い出します。先生を心から信じきった様子で、かけられる言葉にときどき頷いていました。子どもがあれほどの信頼を寄せるまで、親身になって指導していただき、感謝の念に堪えません。

大木スクールの指導は熱くて合理的、そして情に厚いものでした。息子はスイミングやサッカーの習い事をしていましたが、動画振替に対応していただけたおかげで、本人の希望に沿って6年生の夏休みまで続けることができました。

最後まで受験生活を泳ぎきれたのは、指導してくださった先生方、いつも快く応えてくださった事務の先生、全ての大木スクールの先生方が、焦りや不安にさいなまれる親の気持ちや、子どもの気持ちを汲みながら、目標へ導いてくださったおかげと感謝しています。最後までとことん指導していただき、ありがとうございました。

STORY34：自分のペースで



ND 清心・女学院・安田中学校 合格

(附属小学校 女子)

私は3年生の頃から大木スクールに通っていました。GSクラスで授業を受けていましたが4年生の冬からはOクラスになりました。私はそんな時でもGSクラスに絶対上がろうと焦ったり不安になったりせず、落ち着いてしっかりと授業を聞いて自分のペースで勉強をしていました。そして6年生の夏期講習では算数の復習ノートを作り今まであまりしてこなかった復習に力を入れました。すると今まで成績がよくなかった算数が少しできるようになりました。しかし夏期講習が終わり復習をしなくなってしまった私はまた成績が戻ってしまいました。その後冬季講習では理科・社会の暗記テストを頑張りました。私は今まで社会の暗記テストを溜めてしまっていたので特に苦手な歴史の暗記テストだけを受けました。理科の暗記テストは全て受けきることで理科への苦手意識を少し減らせたのもう少し早く暗記テストの重要さに気づけたらよかったと後悔しています。たくさんの先生方のおかげで志望校に合格できました。本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

こぐま会の時からお世話になりました。小学校になり、塾はこぐま会で慣れている大木スクールに通いたいと娘が言いましたので3年生から授業を受けました。

学年が上がっていくにつれ宿題の量も増えて全部こなせてないのはわかっていたのですが反抗期もあり私が言いたい事は先生から伝えてもらえるようお願いしました。苦手な算数は毎週の個別指導でわからない所を聞くようにしていました。

秋に気分が乗らない時がありこのままやる気が出なったらどうしようかと悩みましたが先生のフォローによってなんとか持ち直しました。

親は受験まであと何ヶ月！と焦りを感じていましたが娘はまだ何ヶ月ある、という感覚で相変わらずマイペースなのがもどかしく感じる日々が続きました。

受験直前は過去問を解きその結果で気分が沈む事もありましたが受験当日の朝はこれまで頑張ったのだから大丈夫、と声をかけ学校入口で先生方の励ましを受けそれほど緊張することなく臨めたようです。

大木スクールの先生方のあたたかいご指導のおかげで本人も納得する結果をいただき感謝しております。本当にありがとうございました。

STORY35：次の受験生のみんなへ



渋谷教育学園渋谷・早稲田・西大和・広大附属・学院・修道

・AICJ 中学校 合格

(附属小学校 男子)

僕は4年生から大木スクールに通いはじめました。

入った当時、塾で習う内容については無知で、宿題についていくのに精一杯でした。

ですが、だんだん塾で学んでいくうちに、楽しくなってきました。

そのこともあってのことか、組分けテストでも良い成績を出すことができ、週テストのSコースを安定してとることもできました。

だから、大事なものは勉強が楽しいものだにとらえ、積極的になることだと思います。また、僕は、塾に通って楽しくなった理由として大木スクールの先生の授業が楽しかったという理由があります。先生は分からないところがあれば教えてくれるし、分かりやすい説明をしてくれます。なので、先生の授業を真面目に聞き、分からないことがあれば積極的に自分から聞くことをおすすめします。

さて、僕はこれまで色々な科目の苦手を克服してきました。その中で特に算数と理科・社会の克服方法を紹介します。算数は、僕は昔から負けず嫌いで、答えを見ることを嫌い、ずっと分からなくてもそのまま問題をがむしゃらに解いていましたが、今ふりかえってみると、その方法はあまりおすすめしません。してはダメだという意味ではなくて、分からないのであれば、解いている時間のムダなので、もうきっぱりと区切りをつけて、答えをみて、それでも分からないときは先生に聞くべきだと思います。

次に、理科と社会です。理科と社会の暗記はためこまず、ちゃんとした方がいいと思います。僕は、年代暗記ができませんでしたが、やっぱり覚えていないと不便なので、覚えただけがいいと思います。理科はHop、Stepの暗記を頑張ればいいと思います。

僕は県内の学校の問題に苦戦してしまっていて、特に、広島の時事問題がうまくできなかったです。なので、ちゃんと、早めに暗記テストを終わらせて、入試必勝編1・2をゲットし、詳しくその暗記をして、そのテストに合格した方がいいと思います。

最後になりますが、途中のテストで悪い点をとったとしても、めげずに復習したりして、次への積極性を失わないようにしてください。

次に中学受験を控えるみんなにも、受験校・志望校に合格して、「続けてきてよかった！」という気持ちをぜひ味わってほしいと思います。

【ご家族のコメント】

当初、大木スクールは他塾よりも勉強量が多く、ついていくのが大変と噂を聞いており、とても息子には無理だと思い入塾を躊躇しておりました。そんな中、先生との面談で、「一緒に頑張りましょう！」と言って下さった日のことは私自身鮮明に覚えています。しかもその日は中学受験の真っ只中、県外受験合格の報告もいち早く教えて頂きました。その時は県外受験なんて息子には関係の無いこと、塾についていけたらそれで良いと思い、入塾させて頂きました。

こうして大木ライフが始まりましたが、宿題にプリント、週テストと親が息をつく間も無いほどでしたが、徐々に塾生活にも慣れていき、先生方の授業も面白く、友達の存在もあり息子は楽しく塾に通っておりました。振り返れば行きたくないと言った日はありませんでした。

特に5年生では難しい問題にぶつかり、苛立ち、大変な時期もありました。そんな時も直ぐに答えを見ず、時間をかけ、決して屈することがありませんでした。親としては暗記やプリント整理以外は陰ながら見守るしかできませんでしたが、そこが合格にも繋がったのではないかと思います。

内弁慶で、先生に質問することができない性格だったため、私から電話して取り次いでいただいたことも何度かありました。そんな時も快く息子に教えて頂いたこと、本当に助かりました。

そして何より憧れとしていた県外受験にもチャレンジさせてもらったことは息子にとって大きな自信となりました。

決して順風満帆ではなく、親子とも悩んだり落ち込んだりすることもありましたが、そんな時も根気強く、ご指導頂き誠にありがとうございました。

合格を導いて頂いた先生方には深く感謝しております。

3年間大変お世話になりました。

STORY36：謎の強い意志で



広大附属・広大福山・ND清心・女学院中学校 合格

(附属小学校 女子)

私が大木スクールに入塾したのは、5年生からです。4年生の頃に冬期講習会に参加する機会があり、そのまま入塾することになりました。初めての塾は、授業も面白く、通うのが楽しかったです。入塾してしばらくした頃、クラスが下がることがありました。クラスが下がるのは初めてだったので、悔しかったし、凄く落ち込みました。でも、ここであきらめたくないとちゃんと勉強に取り組みだし、自分を見つめ直すいい機会になったため、結果オーライだったのかなとは思っています。

受験勉強の中、私が大事だと思ったことは、暗記テストは早めに終わらせる、宿題は丁寧にやる、休憩中はまだしも授業はまじめに受ける(直前期は休憩時間も活用する)、苦手教科は少しでもましな状態にしておく、などです。特に暗記テストは、早めに終わらせるといういろなことに取り掛かれるし、特別な冊子ももらえるため、本当に頑張りました。私の場合、受験期の直前まで暗記テストをしていたため、すごく大変でした。あきらめたくない、という謎の強い意志に突き動かされ、おかげで遅くまで残りすぎてすごく親に叱られることもありました。暗記をすると、点数が飛躍的に伸びたため、もっと早くから取り掛かっておけば、と後悔しています。また、苦手な教科である算数の克服は、とにかく問題を解いて取り組みました。家で勉強したくないときは、自習室に行き勉強することにしました。大きなテストがある時は、結果を見て一喜一憂しないようにし、何を頑張ればいいのか考えました。過去問はどの学校だろうと本気で解き、志望校のパンフレットなどを見てモチベーションを上げました。受験1校目は、かなり緊張しましたが、先生方が応援してくれたため、安心して入試に取り組みました。2校目は、面接もあって緊張しましたが、1校目よりは落ち着いて取り組みました。3校目は、力を抜いて、落ち着いて取り組みました。おかげで、志望校に合格できて、嬉しかったです。今まで協力してくださった多くの方々に感謝したいです。本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

上の子の中学受験の経験から、低学年の時から塾に入れることに抵抗があったため、娘が大木スクールに入塾したのは、4年生の冬期講習会後の5年生からでした。Oクラスからのスタートで順調にZクラスに上がることができたのですが、一度だけZクラスからGSクラスに下がったことがありました。娘自身ショックだったと思いますが、塾の先生と面談し、悔しさをバネに再びZクラスに戻ることができました。私自身、仕事をしていることもあり、親として勉強のサポートは特にしていませんでした。あれこれ口うるさく言ってし

まいそうだったので、見守るスタンスで応援してきました。ただ、暗記テストに関しては、少しでも関わるべきだったと反省しています。塾の迎えは欠かさず行っていたのですが、5年生の夏と、6年生の冬に暗記テストをためていて、予定の時間になっても塾から出てこない時がありました。特に6年生の冬は受験まで1か月を切っているというのに、暗記テストにとらわれ、暗記テストの勉強ばかりしていました。暗記テストのことで頭がいっぱいなのか、予定より遅くなった時に連絡を入れない日があり、その日は、めちゃくちゃ怒りました。それからは、無理をしないようになり、精神的にも落ち着いてきた気がします。

受験直前は学校を欠席する子もいますが、娘は毎日学校に行きました。学校と塾に毎日行くことで、ハードスケジュールの中、勉強面と心のバランスが取れていたのではないかと思います。受験直前の大木スクールの先生方のサポートにはとても満足しています。最後までありがとうございました。

STORY37：大事なテキスト



県立広島・ND清心・東雲・女学院・安田 中学校 合格
(宇品小学校 女子)

私は1年生の頃から大木スクールに通っていました。そのころはまだ生徒数も少なく楽しく通っていましたが、4年生の頃からは苦手な暗記や算数も増えてきました。

暗記は母に手伝いをしてもらいました。何度も暗記を繰り返すと覚えられるようになるので苦手意識はなくなりました。苦手な算数はこれからも課題なので予習復習を充実させたいと思います。

先生方が作ってくださったテキストはこれからも大事に保管しておきたいくらい貴重なものでした。

【ご家族のコメント】

大木スクールへは塾の友達もでき、楽しく通っていました。

後半になると夜遅くまで塾で頑張り、朝は6時に起きて身支度をするとすぐ勉強にとりかかり最後まで手を抜かずに毎日本当によく頑張っていました。体調も崩さず最後まで受験できたことに感謝しています。

第一志望校にご縁はありませんでしたが、合格した学校はそれぞれ独自の魅力があり、次の大学受験のためのシミュレーションをしながら入学校を決定しました。

熱心に塾で勉強を教えて頂き、受験日には寒い早朝から受験校で迎えて頂きとても心強く感謝しています。

STORY38：悔いのない中学受験を！



桜蔭・豊島岡女子・西大和・広大附属・ND清心・AICJ中学校 合格
(附属小学校 女子)

私は、3年生の頃から大木スクールに通っていました。

はじめは、あまり授業に慣れることができず、毎週のようにあるテストにも苦戦して、大変でした。しかし、算数の説明では、「わかんない」と言う私の声を先生がていねいに拾ってくれて、詳しくスルーせずに教えてくれ、国語の授業でも、授業でていねいに文章を読んでいき、知らない言葉なども気軽に質問させてくれました。こうした環境だったので、次第に塾での勉強に慣れていくことができました。

また、入塾したころは父が単身赴任で妹もまだ幼く、夜に迎えに来られなかったという事情から Zoom での受講をはじめましたが、コロナ禍で通塾できないときや、行き帰りの時間も短縮できることが自分には合っており、6年生の最後まで続けていました。Zoom 受講で短縮できた時間を使い、分からないところは個別指導などで先生に聞くこともできたので、苦手だった範囲も徐々に克服することができました。さらに、毎週の週テストや組分けテスト・合不合判定テストなどで優秀者に名前が載った時や、文具券をもらえる時、ハーゲンダッツ（組分けテストでとても良い点をとった時にももらえました）をもらった時などにはモチベーションがとてもアップしました。算数オリンピックの対策や、全統小の対策では、先生が分からない問題を一つ一つ解説してくださったり、何年分かの対策プリントをもらえたりして、私自身、算数オリンピック・全統小ともに決勝大会まで進出することができました。時には宿題になやみ、小テストもたまり気味で最後に追い込むのが大変でしたが、理科や社会の自信を高めることができたのは、小テストがあったからです。県外受験では、最後の最後まで過去問を解き、わからないところも先生に質問できました。

これから受験のみなさん。大木スクールでの勉強はたいへんなことも多いかもしれませんが、ですが、そのおかげで、私はここまでこられたと感謝しています。県外受験に向かう直前に、私は受験勉強がづらくなったことがありました。しかし、先生方が「だいじょうぶ！最後まであきらめずにがんばろう！」と言ってくれたことで、悔いのない中学受験ができたと思います。大木スクールは仲間と切磋琢磨し頑張れる場所です。質問できることは質問し、悔いのない中学受験になるよう、中学受験を楽しんでください！

【ご家族のコメント】

小3の算数オリンピックへの興味をきっかけに、大木スクールにお世話になりました。

大木スクールの良いところは、天井を設けていない所です。大木スクールに行けば、算数オリンピックや全国統一テストというような、チャレンジの場がたくさんありました。親子

で話し合い、いつも身近なところに目標を定め、先生方に助けてもらい、相談しながら、そこに向けて頑張ることを続けてきました。そうしているうちに、いつの間にか結果もついてきていました。

受験は『通過点の一つ』です。合格はゴールではなく、その先も続きます。やる気さえあれば、チャレンジすることで自信がつき、達成感も得られます。また、切磋琢磨できる友達もでき、世界も広がりました。そのような経験を実際に親として、そして先生として経験された先生方が、娘を励ましアドバイスをくださり、とても心強かったです。これらの貴重な経験は、大木スクールに通ったからこそできたと感じていますし、これから必ず役立つと思います。

また、塾の入試などの分析は、いつもわかりやすく具体的でした。一番印象に残っているのが、本命の試験当日朝、娘が先生方から言われた教科別の難易度予想がピタリとあたり、周囲の子が難しい問題に動揺する中、落ち着いて受験できたと言っていたことです。

4年間で、大変な時期は何度もありました。励ましたい時、発破をかけたい時、プレッシャーを軽くしたい時など、どうしても困った時は、その都度先生方に相談しました。その度ごとに、先生方が細やかに対応してくださり、とても感謝しています。

最後に、大木スクールは楽な塾ではないです。でも、積極的に関われば、志望校合格はもちろんのこと、様々な経験ができる場所です。入塾時には想像できなかったような貴重な経験をさせていただき、娘が最後まで楽しみながらチャレンジできたのも、大木スクールの熱い先生方のおかげです。4年間、本当にありがとうございました。

STORY39：算数はパターン



渋谷教育学園渋谷・西大和・広大附属・学院・修道中学校 合格

(附属小学校 男子)

ぼくは県外受験に挑戦しました。

3年生のころ、大木スクールに入り、仲間の協力しながら学力を高めていきました。6年生のころは、算数・理科が得意で、社会・国語が苦手でした。

算数が得意になれたのはパズル道場のおかげです。空間認識能力や思考力が高まり、自然と得意になれました。僕は、算数はパターンだと思っています。いろいろな問題・過去問を解いているうちに慣れていってできるようになってくると思います。

国語は先生の授業をしっかりと聞き、そして予習シリーズ(宿題)を先生に提出することが大事です。予習シリーズを提出することは、2つのメリットがあります。まずまじめに取り組もうという気持ちになることです。ときどきさぼってしまうこともありますが、そのた

びに先生に声をかけてもらえ、毎週取り組もうという気持ちを取り戻しました。2つ目は、先生が自分の記述に抜けがちなポイントを具体的に見つけてくれるところです。

社会は、とにかく授業をまじめに受けることが重要です。先生がホワイトボードにまとめる事を書きとめ、しっかりと理解することが重要です。そのことについてしっかり聞いておけば安定した点をとれるようになります。

理科も、とにかく授業を真面目にうけることが大事です。問題によって多少ちがいはあれど、だいたい同じパターンなので、授業のときに解き方を学べばいいと思います。

そして入試本番では、受験をうける直前の先生の声かけが重要でした。緊張をほぐし、安心して受験することができました。

いままで応援してくださった先生方、4年間本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

大好きな算数の力を最大限に伸ばしてくださるカリキュラムに惹かれて3年生から入塾しました。大木の先生方の授業も、全国の強者達と競う模試や講義も、息子にとって楽しく良い刺激になりました。また欠席した授業をフォローしてくださったおかげで6年生の夏まで大好きなサッカーを続ける事ができ、先生方の手厚い対応に親として感謝しかありません。

STORY40：国語の苦手克服



広大附属・広島学院・修道 中学校 合格

(千田小学校 男子)

僕は5年生の頃から大木スクールに通い始めましたが、まず、勉強の難しさに驚きでした。小学校でならったものとは全く違い不安になりました。とりあえず算数と理科が特に難しかったので、2教科に絞って家では勉強しました。もともと算数と理科が得意だったのでなんとか解けるようになったのですが、宿題すら取り組めていなかった国語に苦手意識が強くなり、4教科合計点でかなり足を引っばるようになりました。そこで6年生になってからは家では国語を重点的に勉強するようにしました。それによりほかの教科の学習時間がとれなくなりましたが、授業を一生懸命に聞くことにより、点数は落ち込みませんでした。受験直前、ようやく国語の苦手意識がなくなり、とてもうれしかったです。そして受験当日、先生からカイロと消しゴム、あたたかい言葉をもらって、自分の実力を出し切り、3つの中学校に合格することができて、感動しました。

中学受験に合格できたのは、大木スクールの先生方のおかげだとおもいます。わかりやすい授業をしてくれて、本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

中学受験に挑戦するのは私たち家族にとって初めてのことで、わからないことばかりで、先生方にはたくさん質問をし、お忙しい中その都度丁寧に教えてくださりありがとうございました。勉強はとても難しく、大変だったようですが、分かりやすいご指導と暗記テストや週テストの単元ごとの学習などやるべきことがわかりやすく先生にいわれたことをしっかり家庭でもしたら、成績が上がっていきました。遊びたい年頃に勉強中心の生活をする事になり、不安もありましたが、弱音を吐くこともなく、頑張りきった息子を見て成長を感じ、とてもうれしく思い、中学受験をさせて本当によかったと思います。大木スクールの先生方には、子供に寄り添い、あたたかいご指導をして下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。